

# 戦死者852人 町の誓い

「さきの大戦によって、本町において852人の戦死者を出し、遺族をはじめすべての国民がその戦争の惨禍を負いました」。そんな町の歴史を織り込んで戦争法案の即時撤回・廃案を求める意見書を採択した町があります。秋田県南部に位置する羽後町（人口1万6千人）を訪ねました。

（君塚陽子）

## 止めよう 戦争法案

「いやあ、びっくりしたな。似たような陳情が否決されてきたからな」

町議会議長の藤原要司さん（65）は言います。3月議会では、「集団的自衛権行使を容認した閣議決定に反対、撤回を求める」陳情が賛成6人、反対9人で否決されたからです。



「慰霊之碑」に刻まれた戦死者の名前を見る（左から）阿部久夫さん、藤原さん、柴田鉄郎さん、今由勇さん。羽後町八反田公園

## 否決一転、廃案求める意見書 「戦争はダメだ」

6月議会では、「羽後町9条の会」が出した戦争法案の「撤回・廃案を求める」陳情が日本共産党の2人を含む賛成10人、反対5人で採択されました。

副議長の無所属、阿部久夫さん（66）は「法案は、どう考えても憲法違反」と採択を喜びます。

4人が反対から賛成へ。その1人、無所属の阿部義助さん（65）は、花の出荷の手を休めて言います。

「前は『時代が変わったから』と言われればそうかな、と。でも最近はこちらとまずいぞ、と。ほとんどの憲法学者が反対している。9条改憲につながるなら自分も絶対反対だ」

7人いる自民党籍の町議のうち2人が賛成に回ったため、同党羽後町支部は「認めがたい決議」と7人全員に文書を送る事態も。賛成した1人は語ります。

「後方支援も立派な戦争だ。戦争だけはダメという気持ちは何を言われても揺るがない」（12面につづく）

### 秋田・羽後町



## 秋田・戦死者852人の町で

# 止めよう 戦争法案

町議、柴田鉄郎さん(79)は6月議会でも、安藤豊町長と高橋道子教育長の歴史認識を問う質問をしました。

遺族を見て実感

### 1面のつづき

2013年、安倍首相が「侵略の定義は定まっていない」との発言を繰り返す中、秋田県羽後町の日本共産党は、「私の伯父も南方



叔父さんの名簿と菅原さん

## "70年前の悲劇忘れたか"

で餓死しています」と声を詰まらせました。

羽後町出身の戦死者は852人。その3割がフィリピンで亡くなっています。フィリピンは日本兵約52万人と最大の犠牲を出した戦場で、戦闘死より栄養失調による病死、餓死がはるかに多かったといわれています。

学ぶ集いに140人

町遺族会会長の菅原孝太郎さん(72)も当時30歳、22歳の2人の叔父をフィリピンのルソン島、レイテ島で亡くしました。戦争法案について「70年前の大悲劇を忘れたのかよ、冗談じゃないよ、という強い思いがある」と

静かに語ります。

陳情を出した「羽後町9条の会」は2日、

戦争法案や空襲被害を学ぶ集いを開き、町民140人が参加しました。「知らない顔もあって資料も足りなくなつた」と成功を喜ぶ同会の今由男さん(73)。

町内で電気店を営む女性(63)は「チラシを見たときから行かなきゃと思いました。知り合いとも国会前に行きたいぐらいだよと話しています」。

羽後町の各地区にある戦死者の名を刻んだ碑。明治地区には99人の名が二羽後町八反田公園



同会の金一治(こん・かつじ)さん(77)は、「この町から六十数人が自衛隊に行っています。元隊員の1人は廃案を求める署名に『元自衛隊員と明記して署名したい』と言いました。地域ごとの集いなどを開き、なんとかしても廃案にしたい」と話しています。